

愛知東邦大学 シラバス

| | | | |
|--------------------|--------|-----------------------------|----|
| 開講年度(Year) | 2024年度 | 開講期(Semester) | 前期 |
| 授業科目名(Course name) | 専門演習Ⅰ | | |
| 担当者(Instructors) | 安藤 真澄 | 配当年次(Dividend year) | 3 |
| 単位数(Credits) | 2 | 必修・選択(Required / selection) | 必修 |

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

「ネットに振り回されない、ネットの海に溺れない」 一日中スマホに触っている人はソーシャルネットワークにずっとつながっていることになります。そこでは情報を得ると同時に自分の情報も相手に渡しています。その中には悪意をもって情報を流す存在もあります。そんな中ではインターネットの仕組みとプラットフォームの役割を理解し、デジタルリテラシーを身につけることで、ネットに振り回されない、ネットに不確かな情報を流さないという姿勢を身につける必要があります。

■授業形態・授業の方法(Class form)

| | |
|---------------------|--|
| 授業形態(Class form) | 演習 |
| 授業の方法(Class method) | 専門演習Ⅰではインターネット社会の特徴や問題点を理解するところから始める。前半は講義、後半は学生の問題意識に応じた文献を選び、文献購読を進める。 |

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

| 回数(Num) | テーマ(Theme) | 内容(Contents) | メディア区分(Media) |
|---------|--|--|--------------------------|
| 第1回 | イントロダクション | 自己紹介(教師、学生) 学生は何を学びたいのか記述する | <input type="checkbox"/> |
| 第2回 | インターネット利用の現状を知る | さまざまなデータからインターネット社会の現実にアプローチする | <input type="checkbox"/> |
| 第3回 | 検索エンジンの仕組みを知る | 「ググレ」と言われても人によって検索結果は異なっている。それはなぜか。どうすれば検索精度を上げられるのか。 | <input type="checkbox"/> |
| 第4回 | EC(Electronic Commerce : 電子商取引のこと。要はネット通販)の仕組みを知る | デジタルマーケティングの裏側でどんなことが行われているのか。自分の嗜好がどうマーケティングに利用されているのか。 | <input type="checkbox"/> |
| 第5回 | プラットフォームとは何か | GAF Aとは何か、なぜそんなに社会的な力を持っているのか。 | <input type="checkbox"/> |
| 第6回 | SNS(Social Networking Service)とは何か | SNSの種類と個々の特徴を知る。 | <input type="checkbox"/> |
| 第7回 | インターネットの利用経験 | インターネットを利用して困ったこと、怖かったこと、よかったこと等の個人的な体験の共有となぜそのようなことが起こるのかを知る。 | <input type="checkbox"/> |
| 第8回 | 前半のまとめ | 前半のまとめと振り返り | <input type="checkbox"/> |
| 第9回 | 文献購読 | 個々の学生の関心に沿った文献を指定し、その中の該当箇所を読んでいく。担当学生を事前に決めるので、その学生はレジュメを準備する。適宜、解説をする。 | <input type="checkbox"/> |
| 第10回 | 同上 | 同上 | <input type="checkbox"/> |
| 第11回 | 同上 | 同上 | <input type="checkbox"/> |
| 第12回 | 同上 | 同上 | <input type="checkbox"/> |
| 第13回 | 同上 | 同上 | <input type="checkbox"/> |
| 第14回 | 同上 | 同上 | <input type="checkbox"/> |
| 第15回 | 全体のまとめ | 全体のまとめと振り返り | <input type="checkbox"/> |

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

配布される資料を読み込み、担当する学生はレジュメを準備する(2時間)。授業で学んだ内容を確認する(2時間)。日頃からインターネットユーザーの行動に関心を持っておく。単なるユーザーではなく、インターネットビジネスをする側が何を目的としているかを考える。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

前半の講義の際に適宜課題を出し、必要に応じてフィードバックを行います。質問は次の講義で共有します。後半は文献を読み進めながら適宜課題を出します。担当の学生は当該箇所を読んでレジюмеを準備し、配布してください。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)

| 区分(Division) | DP区分(DP division) | 内容(DP contents) |
|--------------|-------------------|--|
| 思考力・判断力・表現力 | ◆ 2021地域ビジネスDP2 | 経営を取り巻く環境変化に関心を持ち、その変化がビジネスや社会全体に与える影響を幅広く思考し、多面的な判断の上、中長期的な課題を考えることができる。また、様々な個性や、利点及び問題点を抱えている地域社会において、多様な人びとと協働し、自己の意思・意欲・計画を他者にわかりやすく説明できる。その際に、コミュニケーションツールとしてのインターネットの利点と問題点を理解した上で、賢くつかえるようになる。 |
| 主体性 | ◇ 2021地域ビジネスDP3 | 自らの社会貢献性について、専門知識や技能を深める領域を探索し、主体性を持って地域社会の活性化や発展に貢献できる。その際に、インターネットを活用した貢献ができる。 |

■成績評価 (Evaluation method)

| 筆記試験(Written exam) | 実技試験(Practical exam) | レポート試験(Report exam) | 授業内試験 (in-class exam) | その他(Other) |
|--------------------|----------------------|---------------------|-----------------------|------------|
| | | | 80% | 20% |

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内で出される課題を期限内に提出する。レジюмеの担当になった時はレジюмеを作成する。その他、授業への参加姿勢も鑑み、総合的に評価する。

■テキスト (Textbooks)

| No. (No.) | テキスト名など(Text name) | ISBN(ISBN) |
|-----------|----------------------------|------------|
| 1 | テキストはありません。資料を必要に応じて配布します。 | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |

■参考図書 (references books)

| No. (No.) | テキスト名など(Text name) | ISBN(ISBN) |
|-----------|---|---------------|
| 1 | 一田和樹・齊藤孝道・藤村厚夫・藤代裕之・笹原和俊・佐々木孝博・川口貴久・岩井博樹『ネット世論操作とデジタル影響工作 「見えざる手」を可視化する』原書房、2023年 | 9784562072561 |
| 2 | 坂本旬・山脇岳志『吟味思考を育むメディアリテラシー』時事通信社、2022年 | 9784788717978 |
| 3 | シナン・アラル、夏目大訳『デマの影響力』ダイヤモンド社、2022年 | 9784478104873 |
| 4 | 吉野ヒロ子『炎上する社会』弘文堂、2021年 | 9784335552038 |
| 5 | スコット・キャロウェイ『the four GAFAs 四騎士が創り変えた世界』東洋経済新報社、2018年 | 9784492503027 |